

輸出事業計画

様式 2

申請者名：二海・上北 食肉流通再編・輸出促進コンソーシアム
品 目：豚肉

1. 輸出における現状と課題

世界の人口増（特にアジア）での需要が伸びることで、既存輸入量確保の困難が予想される。そのため、当コンソーシアムは、日本国内及びアジア各国の豚肉需要の変動に対応した生産を行い、国内への豚肉の安定供給や、海外の需要増に対応するため、輸出に取り組むこととした。

①現状

当コンソーシアムの輸出状況はR 2 年度より香港へ輸出を開始（9 t / 年、8 百万円）し、マーケットシェア獲得や、豚熱ワクチンによる輸出規制により本州からの輸出量が減少したことからR 3 年度は香港へ8 2 t / 年、6 7 百万円、R 4 年度も香港へ1 3 9 t / 年、8 4 百万円と年々増加傾向にあり、低価格帯商品（内臓等）から高価格帯商品（正肉）までさまざまな需要に対応している。

国内豚肉供給安定拡大はもとより、目標とする3 国・地域への輸出を実現の為、より衛生基準の高い食肉処理施設への整備を行う必要があると判断した。

②課題

- * 製造キャパの拡大
- * 既存輸出国以外へ輸出可能施設への整備
- * 顧客が求める社会課題への対応（SDG s、アニマルウェルフェア）
- * コスト競争力の強化
- * 海外産との競合への対応

2. 輸出事業計画の取組内容

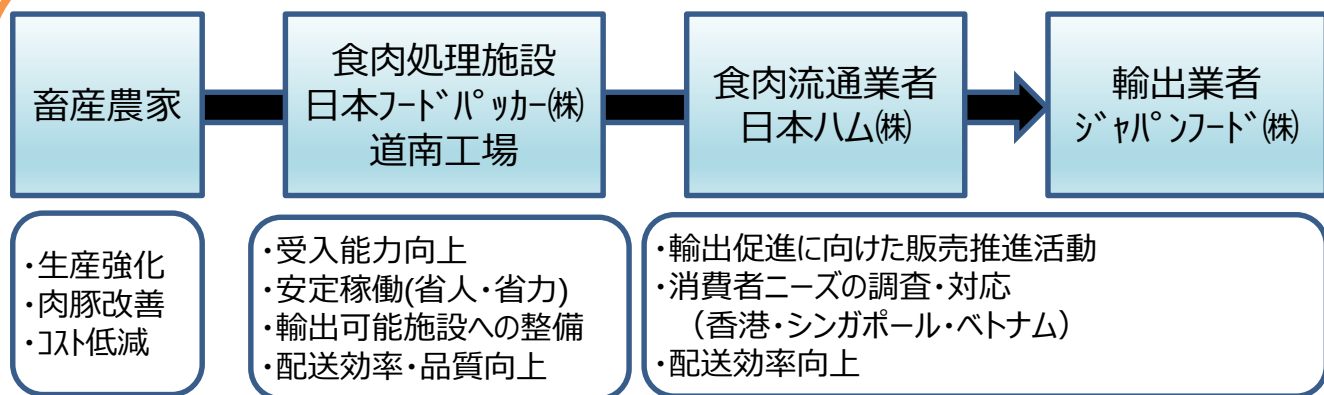
輸出拡大に向け、輸出EXPOへの参加、販促ツール検討等に加え、コンソーシアム構成員各々が課題解消に向け、役割を果たすことで、衛生基準が高いとされるシンガポール輸出認定取得や、北海道産を最大限活かし、ブランド価値向上に努める。

- * 製造キャパの拡大
 - （食肉処理施設）肥育豚受入能力向上・施設高度化・品質強化
（生産農家） 長期的な生産計画の策定及び安定生産
- * 既存輸出国以外へ輸出出来る施設への整備
- * 顧客が求める社会課題への解決（SDG s、アニマルウェルフェア）
 - （食肉処理施設）衛生基準を満たす食肉処理施設へ整備を実施
機械化による省人省力化・災害時用設備導入
- * コスト競争力の強化
 - （食肉処理施設）施設再編、生体配送効率の検討
（食肉流通業者）製品配送効率検討
（生産農家） 生産コスト低減
- * 海外産との競合への対応
 - （食肉流通業者）北海道産を活かした現地への販売促進
（生産農家） 消費者ニーズに対応した肉豚の生産

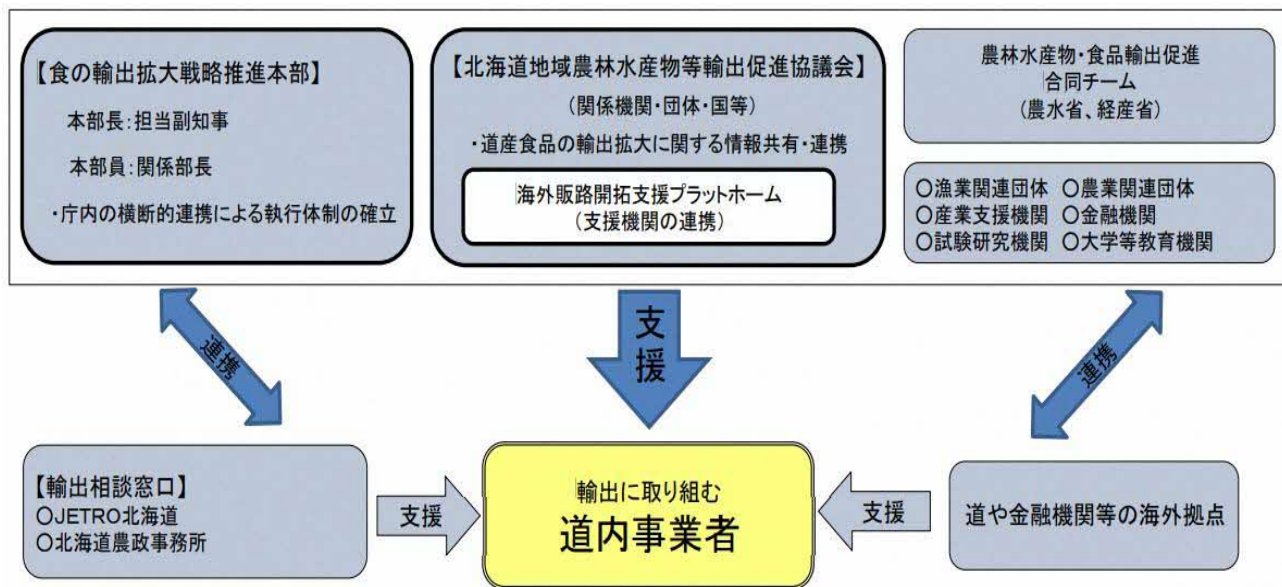
輸出事業計画

申請者名：二海・上北 食肉流通再編・輸出促進コンソーシアム
品 目：豚肉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



この他、北海道では関係機関と連携し、オール北海道としての輸出の取組を推進しており、本コンソーシアムに対しても必要に応じた支援が得られる体制が構築されている



4. 輸出目標額

	現状 (令和2年度)	目標年 (令和8年度)	備考
輸出額	8,154千円	15,059千円	
輸出量	9t	25t	
輸出国	香港	香港・ベトナム・ シンガポール	